

磐城時報

福島縣石城郡平町番屋町十四
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷所 所加納活版所
印刷部 石城郡平町番屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金拾圓
廣告料(日曜、祭日)休刊
日刊(日曜、祭日)休刊

普選らしき 町議改選

午前五時から押しかく 正午まで二千四百二名

平町會議員の選挙は三十日午前の改選であるため捕ひの印半六時から元商業学校内で行つた。向ふ録巻で如何にも威勢の好が、開始前から警官十数名出張り団体投票者や、盲目で杖を頼して投票所の警戒に努めた、午りの人、足のない人、等々普通前五分十分早くも投票者が押しにふさはしい光景が漂つて来た。午前六時開場するや研町伴因に平町現在の有権者数は名簿喜三治、渡邊富義、吉田弘各氏登載数は三千九百五十三名で以下續々と投票者来り午前八時つたが、其後死亡五十七名、他から九時迄の間が最も混雑を極め村移出百四十六名、欠格四名めた、正午までの投票者二千四百二名で、差引三千七百三百二名で實際有権者の三分の二三名である。この内棄権は約に達した、今回は普通選挙最初一割内外と見られてゐる。

興味を以て見られる 高橋候補の得票

今回の選挙は豫想以上平靜に終つた。唯一人問題を起したの害されたためであらうと言はれは高橋龜松氏で、氏は投票日真に際になつて告訴された。め氏の投票がそれに影響されて如何なる變動を来すかは頗る注目される。一般の見方では氏の得票は非常に多いか或は非常に少いかの二つの中で、多くなると想像する根拠は、告訴されたため全町から反動的の同情を集めたため、又非常に少なからうと察し得るのは告訴に關聯

小川組合村 村議當選者

小川組合村の村議員改選は十八日行はれたが、當選者並に棄権率その他を記せば左の如し

有権者	上小川	下小川
三三五	三九五	三九九
棄権者	一七	一六
三六八	三八一	三三九
有効数	三六六	三七九

當選者

▲上小川村 三六票野實伊、三三票鈴木小得、二九票野正壽、二九票佐藤茂、二八票渡邊市丸、二六票草野四郎平、二五票草野實吉、二二票白井菊造、二二票木村龍吉、二二票渡邊巳之吉、二二票田久兼治、二二票萩野和右衛門、(次点)二一票草野淺右衛門、一八票草野野三三

石城郡内の今日の選挙

石城郡下で今三十日選挙を執行する、町村は左記六ヶ町村である。平、四ッ倉、神谷、錦、泉、渡邊

人氣の焦点にある 中等校野球戦

組合せは六月一日決定 審判は柏崎、後藤兩氏

本社創立十五週年紀念中等校野球大會は屢報の如く本年度参加校は相馬、磐城、安積、田村の四中學校でそのメンバーは別項の如く、相馬中學校は前日の六月一日來平、その他中學校は二日午前八時半着列車で來平、午前九時九分試合を開始する筈である。組合せは六月一日午後七時参加校のキャプテンが平町橋小路阿部政右衛門氏方に情にれば石城郡平町株式会社會合抽籤で決定する筈で、審判警越銀行は昨年好問、泉、湯本は水戸運輸事務所から柏崎廣、小川郷、新山、小名濱の各出張後藤憲迪兩氏が特別に來平する所を繼續設置方申請したが大藏省の快諾を得た。當日の役員は省ではこれに對し好問、泉、湯會長唐土齊治、副會長加藤丈夫本の三出張所のみ認可指令し他阿部政右衛門、總務佐藤平各は不認可となつたので同行では氏の外幹事として左の各氏を依せて小名濱への出張所だけ存続の證據に預かりたいといふに

警越銀行から 藏相へ陳情

後藤憲迪兩氏が特別に來平する所を繼續設置方申請したが大藏省の快諾を得た。當日の役員は省ではこれに對し好問、泉、湯會長唐土齊治、副會長加藤丈夫本の三出張所のみ認可指令し他阿部政右衛門、總務佐藤平各は不認可となつたので同行では氏の外幹事として左の各氏を依せて小名濱への出張所だけ存続の證據に預かりたいといふに

北目の叶多敏彌 窃盜罪で捕はる

猪狩刑事と大格闘

平町北目町當時住所不定無職放蕩入墓口を窃取した事を自白し火前科一犯叶多敏彌(三九)は嘗たので引續き余罪取調中であり、鑛田遊廓榮樓の娼妓に振られる。たのに憤慨し同家に放火を企てた事のある男であるが、其後窃盗を働いて起訴猶豫中の處實家から飛び出して居所不明となつたので捜索中二十八日夜平町六丁目清水屋旅館に好問村大字中島叶多敏一(三八)と詐稱して投宿した事を知り平署猪狩刑事が逮捕のため赴いた處、何れへか出かけて不在なため附近に張り込んで来た處、二十九日午前一時頃歸つて来たので逮捕せんとした處猪狩刑事に抵抗したので三十分間格闘の末漸やく取押へ平署に引致して取調べた處、十圓札三枚と銀貨で六圓余を持つてゐるのでその出所を嚴重に調べた處去る二十三日午前十一時頃小名濱町字上町飲食店村山ウラ方で同町旅館新米女將永山モリエが傍らにおいて現金七十六石城郡豊間村では海港着工前に

錦村議 けふ改選

石城郡錦村議選舉は定員十二名に對し左記十四名立候補し遂に植田署の召喚を受けたもの、ある程に競争激甚を極めてゐるが、いよ／＼今三十日午前八時より午後五時までに執行されることとなつた、立會人は正木辰次、金子澤義、金成源衛門、小野兵次三氏である。

ブリ大敷網 反對陳情

かねて縣に免許出願中の石城郡植田町沖合のブリ大敷網に對し江名、小名濱兩漁業組合では既に豊間村大敷網の實況に照し若し縣が許可するやうな場合は漁獲皆無となり兩組合員の死活問題が惹起するとして組合代表者数名は二十九日出縣不許可の陳情をなした。

中等校野球大會参加校のメンバー

投手	手手	安積中學	田村中學	相馬中學	磐城中學
捕手	石 鈴	田 木	秋 泉	(未 着)	小 林
一遊	松 萩	原 田	今 泉		大 藤
二遊	齋 星	藤 島	本 川		小 妻
三遊	吉 星	藤 島	本 川		朝 林
中遊	國 吉	藤 島	本 川		佐 藤
右補	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
左補	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		佐 藤
同	齋 國	藤 島	本 川		坂 本
同	齋 國	藤 島	本 川		小 妻
同	齋 國	藤 島	本 川		朝 林
同	齋 國	藤 島	本 川		

三十萬圓で 鎌田鐵橋

愈々架替の

平保線區管内常磐線平驛北方の夏井川の鎌田鐵橋は地質的關係から年々橋脚が沈むので平保線區では同鐵橋の改修工事をなすべく水戸保線事務所に稟議したが經費の關係で改修工事は一時延期の形となつてゐたが過般の風水害の爲非常にいたみ危険が多くなり今後大降雨もあれば那勿來町信用組合事務監督は去列車運轉には番人を付けなければならぬと二十八日から三十日まで三日は安心出来ないといふまでになつたので水戸保線區事務所でも合中央會井戸乙吉氏である。

◆勿來信用監督 石城

◆名畫續映◆新緑盛装して威風凜凜たり
三十一日替り特別興行

人の世姿
國旗の巻八全

◆日活超作品 ◆文藝俱樂部所載 原作柳原諒雨
脚色松本常男 監督渡邊邦男 主演伏見直江

◆御後援鐵道省 各省御讚賞 日活文明派全力傾注冒險映畫
山本嘉一、島耕二、瀧花久子 主演

鐵道美談 特急二百マイル 卷九全

◆中村政登志、三田實、津島ルイ子
◆殿米大作品を遙かに優越せる日活本年度代表名畫
說明 若月 柯村

◆松竹提供映畫 阪プロ太秦製作名篇
◆原作大須賀 滿 監督 犬塚
◆主演 阪東妻三郎、志賀靖朗、中村吉松、森靜子

忠次 赤城嵐 卷十全

◆哀愁をこむること深き……此の懐舊詩 幾は古くも新味
彷彿、日頃新らしき誕生をなしたつある阪妻の真技……
說明 石井 孝

料金普通 松竹活平 館電四六六

第二回 中等學校野球大會

期日 六月二日午前九時より

場所 磐城中等學校球場

本年參加校

磐城中學 相馬中學
安積中學 田村中學

一、抽籤 六月一日午後七時

一、試合法 トーナメント

一、優勝賞 本社優勝旗贈呈

一、試合球 アメリカンボール(大塚運動具店寄贈)

一、ホームラン打者 ノーバウンドホームラン打者へ
丸山組丸山喜一郎、加納外一兩氏寄贈
銀側腕巻時計一個を呈す

一、三壘打者 神戸丸善運動具部寄贈賞品進呈

一、審判 水戸運輸事務所柏原廣、後藤憲迪兩氏

主催 磐城時報社

會長 唐土 齊治

副會長 加藤 丈夫

同 阿部 政右衛門

總務 佐藤 作平

幹事 大塚鳳三郎、石坂一男、安部富八

織田安次郎、小野五郎、國井孝親

石川友次郎、水野忠護、豊口欽哉

鯨岡益之助、大村隆、高田亥三二

織田榮二朗、鈴木武雄、水野峯雄

磐城時報社
祝創立十五週年紀念
中等學校野球大會

平藝妓屋組合

平旅館業組合

木村寅次郎

平料理屋組合

山野邊東次郎

藤沼平次郎

松月堂菓子店

一の井